

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

事業名	598	鳥獣害防止事業	区分	コード	名称	
基本	42	持続的で個性的な農林業を実践する	会計	01	一般会計	
施策			3	180	行革大綱の重点事項番号	6・7
コード			653500	評価者氏名	澤井 成之	連絡先
担当部課	名称	阿山産業建設課	氏名			

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
農業者	鳥獣被害を防止することにより、農産物の生育、生産性の向上が図られる。
(※対象件数)	
根拠法令・要綱等 支所関係補助金交付要綱	
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
事業内容	状況変化等
有害獣による農産物への被害の発生が予想される地域・農家を対象とし、被害を防止するための設備の購入資材の20%を助成する。 (最高限度額300,000円・最低は10,000円) 被害防止する設備の内容は電気柵、トタン、鉄線等による防護柵の経費 平成20年度に6件の補助を行った。	

整備内容

1 建設用地	千円	1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
2 建設面積(延床面積)		委託先	人 千円
3 規模・構造		2 配置(予定)人員	
4 総事業費		3 年間運営費	
		4 市内の類似施設	

運営体制

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
助成件数	件	目標	5	目標	5
		実績	9	実績	6
		目標		目標	
		実績		実績	
		目標		目標	
		実績		実績	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
鳥獣害による被害面積	農業共済組合に報告される被害面積の内、鳥獣害による被害面積部分を指標とした。	a	目標 400 実績 340	目標 300 実績 556	300	280
鳥獣害による被害額	農業共済組合で算定された被害額を指標とした。	千円	目標 1,240 実績 553	目標 500 実績 2,336	500	500

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	農作物への被害防止対策を進めなければ、耕作放棄地の防止や生産意欲がなくなる恐れがあり、地域農業がなりたたなくなる。
有効性	3	防止柵の設置に対する助成であり、獣の水田への侵入を未然に防ぐ直接的な効果がある。
達成度	4	農家の申請により、6件の施策が実施された。
効率性	4	設置及び管理は各農家で材料費のみが補助対象であり妥当である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	野生獣は、地域を越えて移動するので、地域と地域が連携しながら、有効的な防止策を検討する。

年度	進捗状況	平成19年度 決算内容				平成20年度 決算内容				平成21年度 計画内容				平成22年度 計画内容				平成23年度 計画内容				平成24年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
	委託	補助金			171	補助金			230	補助金			270	補助金			270	補助金			270	補助金			270
	工事																								
	進捗率(%)	事業費計(A)				事業費計(A)				事業費計(A)				事業費計(A)				事業費計(A)							
		人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
		フルコスト (A)+(B)				891				950				990				990							

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	171	230	270	270
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	171	230	270	270
	計	171	230	270	270
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				